


会議録

会議の名称	平成28年度第1回ふじみ野市男女共同参画推進審議会			
開催日時	平成28年6月24日(金) 開会時刻 午後2時00分 閉会時刻 午後4時20分			
開催場所	本庁舎5階 A大会議室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	会長	石井ナナエ	委員	吉澤紀子
	副会長	斎藤宏	事務局	熊木しづ子
	委員	大河内玲子	事務局	塩野隆一
	委員	尾山みゆき	事務局	小林真子
	委員	笠谷隆久	事務局	坂本心太郎
	委員	坂井達也	事務局	名城卓弥
	委員	千葉信		
	委員	西川けい子		
	委員	前田清海		
会議の議題	①ふじみ野男女共同参画プランの進捗状況報告書について ②審議会の今後のスケジュールについて			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	0人			
発言の内容	別紙「発言の要旨」のとおり			
会議資料	別添のとおり			
事務局	市民生活部市民総合相談室			
議事の確定	確定年月日	平成28年7月5日		
	記名押印	役職名 会長 石井 ナナエ 		

発言の要旨

発言者	発言の要旨
塩野室長	<p>ただ今より、平成28年度第1回ふじみ野市男女共同参画推進審議会を開催します。</p> <p>本日の会議には、奥田委員と黒須委員から欠席の連絡をいただいておりますので、委員12人中10人の参加をいただいております。</p> <p>委員の数が条例施行規則第3条第2項で規定した委員総数の過半数となっておりますので、会議が成立しております。なお、傍聴者は、0人です。</p> <p>はじめに、ごあいさつをお願いします。</p> <p>石井会長、お願いします。</p>
石井会長	【あいさつ】
塩野室長	引き続き、事務局を代表して熊木市民生活部長からごあいさつを申し上げます。
熊木部長	【あいさつ】
塩野室長	<p>議事に入る前に、4月の定期人事異動により事務局の体制が変わりましたので、紹介をさせていただきます。</p> <p>【事務局職員紹介】</p> <p>続きまして、配布資料の確認をいたします。</p> <p>議事に移ります。議長は、規則第3条第1項の規定により会長にお願いします。</p>
石井会長	それでは初めに議題(1)「ふじみ野男女共同参画プランの進捗状況報告書について」の説明を、事務局からお願いします。
事務局	<p>年度ごとに作成している男女共同参画プラン進捗状況報告書(平成27年度実績報告・平成28年度実施計画)及び、ふじみ野男女共同参画プラン施策別数値目標に係る平成27年度実績についてご説明いたします。</p> <p>今年度の進捗状況報告書の中では、平成27年度第2回男女共同参画推進審議会にてご意見をいただいた内容について、各課に伝え反映できる箇所について二重下線を引いて内容が分かるように記載しております。</p> <p>意見の反映部分については、別に抜き出して資料3にまとめてあります。時間の関係上いくつかの部分について紹介いたします。</p> <p>数値目標については、平成20年度の計画開始から5年経過した平成24年度に最終年度である平成29年度の目標値を定めたものですが、これまでの推移がわかるよう、平成24年度から27年度までの実績を記載してあります。</p> <p>また、各担当課にて数値目標の達成や推移についての所見を明らかにしています。</p>

事務局	<p>数値目標の施策番号35「保育環境の整備充実」の説明に際して、平成27年度第2回男女共同参画推進審議会の中で、前田委員から保育所の待機児と保留児について質問がありましたので、それに対して返答をいたします。</p> <p>平成28年4月1日時点では、待機児28人、保留児149人です。一年前の平成27年4月1日時点では、待機児18人、保留児205人でした。</p>
石井会長	<p>事務局からの説明に対し、何か質問はありますでしょうか。では、委員から順番に発言をお願いします。</p>
吉澤委員	<p>施策75のがん検診受診率について、もっと働きかけをして、受診につながっていかないかと思いました。</p>
石井会長	<p>保健センターに、受診率が上がる取り組みをするよう要望するという事でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>保健センターに意見があったということをお伝えします。</p>
前田委員	<p>入札の際に、育児休暇、介護休暇について国の基準を超える企業についてはインセンティブをつけられるよう意見をしましたが、制度の周知啓発を趣旨としているので、契約担当課としては実績を「把握していません」という回答になっております。市内で実際介護休業、育児休業を導入している企業は少ないので、意識の高揚と啓発を促すというには効果的であると思いますが、具体的に見える形でのインセンティブがなければ効果が上がらないと思います。今のままの状態では、改善は見込めないと思いますし、そのような内容のものが重点施策に位置づけられているのには、違和感があります。</p>
事務局	<p>担当課には見直しを図ってほしいと意見は出していますが、今のところ反映できていません。今回意見がありましたので、担当課には善処するように改めて伝えます。</p>
前田委員	<p>入札参加資格の取扱いは難しいと思います。点数に反映させるのは制度としては難しいと思います。</p>
事務局	<p>入札参加は埼玉県の基準で行っていますので、そこにふじみ野市独自の基準を加えられるかどうか担当課へ確認したいと思います。</p> <p>国では女性活躍推進法ができて、総合評価方式の中で配慮するという方向になってきているので、国が変わってくれば自治体においても変わってくるのが考えられます。</p>
前田委員	<p>意図としてはとてもいいことだと思います。しかし国以上の基準を求めている自治体は見たことがないので、いきなり国以上となると難しいと思います。そのため、別の形でも取り入れる方法があればよいと思います。</p>
尾山委員	<p>給食などでは市で独自で契約していると思いますが、市が業者と契約するときに、実態把握のために育児、介護に関する取り組みを聞き取るだけでも、今まで聞いていなかったことを聞くということ</p>

	で、変わってきていくというのが、浸透していくと思います。ただ聞くだけなので、簡単なことだと思います。
石井会長	入札に参加する企業はどれくらいの数があるのでしょうか。
事務局	入札参加資格の数はこの場では数字を持ってきておりませんが、かなりの数になります。ただ、その中で実際に契約をするところとなると、限られてくると思います。正確には、確認して後日用意させていただきたいと思います。
石井会長	まずは、入札する方の意識から変えて行くということで、審議会の意見として事務局でまとめてください。
西川委員	女性相談員に対して研修の機会を与えてくれているのは他の自治体ではなかなかないので、よい取り組みだと思います。 施策40の県男女共同参画課のスーパービジョン研修は、県が持っている事例ではなく、各市町村の事例を県の担当者が広い視点で集めた市町村の困難ケースですので、補足で説明します。 それだけではなく、市役所内での住民記録とか、保険手続きとかの点でもスーパービジョンが役立つといいなと思って意見をいたしました。
千葉委員	施策番号56の数値目標、女性管理職が平成29年度に10%と目標を定めているということと、施策番号41のDVコーディネート件数の目標値については何を目指しているのでしょうか。
事務局	施策番号56について、平成24年度時点では女性管理職は4%でした。その当時では29年度10%というのも実現可能性が低いと思われていましたが、実際現時点では目標を超えるに至りました。 次に、施策番号41のDVコーディネート件数については、庁内のどこにつないだかというものです。もちろん件数が多い方がいいというものではないし、0になったからいいかどうかというものではありません。0になったというときに、実際被害にあっている人が救済されないということであってはいけないものです。 また、件数が多くなったことについては、一人の人に対して、関係する課が複数にまたがったり、複数回関わったりするということが件数が数えられていることの現れです。
千葉委員	分かりました。 あと、施策番号60のふじみ野市平和都市宣言5周年となっているが、10周年ではないのでしょうか。
事務局	これは、合併が10周年ということで、平和都市宣言としては5周年という意味です。 施策56の女性の管理職登用の数値目標について補足します。目標を定めた平成24年当時は、国の状況も今とは違い、市の中でも女性管理職の割合が低く、数値目標を定めること自体に抵抗があっ

事務局	<p>たという状況があります。それが実際の運用により、年々多くなって現在目標値を超えてきたという状況があります。</p> <p>女性が政策の場に出るのは積極的にやっていかなければならないという現状があります。</p> <p>もうひとつ、DVコーディネート件数を目標値に掲げるのは、DV支援がきめ細かく、一人の人に何度も関わることになり、業務量も多くなるものであることを指し示せばという意図もあります。</p> <p>数値が高いということは、手厚い支援を行っていると思えていただきたいと思います。</p>
笠谷委員	<p>管理職になると忙しいので女性が手を上げにくいという状況があると思います。</p> <p>手を上げにくい状況がどうなのかというところから入っていくと、政策についても女性にフィットするところも出てくるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>現状として、総務部門など肝心なところは男社会で女性が入り込めていない部分があります。</p>
石井会長	<p>そこを変えていけるよう、審議会の意見として取り上げてもらいたいと思います。</p>
坂井委員	<p>施策番号2で、文京学院大学に声をかけたということでしたが、周知したということでしょうか。市といっしょに事業を行えるよう連携を図るということなんでしょうか。</p> <p>例えば入間市などでは、男女共同参画センターというものがあります。そこで、機能がされているのであれば見習うところがあると思いました。</p> <p>また、市民とのタイアップは行政側から見れば育成になる。啓発だけでは進まない部分もあるので、どうやったらいいのかなと思いました。</p> <p>会社も市民も男女共同参画意識が高くなっていくことが大事なので、会社も大学も、意識の高い人を選んでいくような流れができていくといいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>もともこのご意見は、市民総合相談室で行っているまちづくり委託事業に対しての意見として受け取っていますので、まず学生にも参加してもらおうとチラシを持って行って周知を図ったというのが現状です。</p> <p>それ以外に文京学院大学とは市として連携していますので、各担当課に審議会に出た意見として伝えて行ければと思います。</p> <p>女性センターについては、ふじみ野市にはなく、フクトピアに男女共同参画コーナーがあり図書を展示しているくらいなのですが、今後その必要性について審議会でもご意見を出していただければと思います。</p> <p>例えば男女共同参画をすすめる市民の会などがセンターを運営し</p>

事務局	<p>ていくということも考えられると思います。母体は少しずつできていると思いますが、これからののかなと思います。</p> <p>それともうひとつ、文京学院大学とは、協働推進課で地域包括の連携というものを行っております。</p>
西川委員	<p>世田谷区の取り組みで、大学生がデートDVのインストラクターになり、地域の小中学校を回って説明しているという取り組みがうまくいっているということですので、紹介させていただきます。</p>
石井会長	<p>デートDVの説明の対象が高校生から中学生や小学生に下げていくという流れになってきていますね。</p>
坂井委員	<p>高齢者虐待対応支援という取り組みもあります。基本目標であらゆる形態の暴力の根絶とありますが、高齢者は別のところののかなという印象もあります。もう少し広げられないのかなと思いました。</p>
事務局	<p>それについては次期平成30年度からの第2次プラン策定の際に反映できるかどうか議論していただければと思います。</p>
笠谷委員	<p>施策番号41のDVコーディネート件数について。平成29年度300件ということについて。数字が目標になじむかどうか。しかし目標がないと何で評価していいかわからないので、必要と思いますが、多い方が市民貢献、市民サービスの面で評価できるというのではないのでしょうか。</p> <p>また実際に来た人に対してどういうことで相談室を知ることになったのか、来る気になったのか、年齢別の統計もとっていると思いますが、分析して周知に活かしてもらえればと思います。</p> <p>もうひとつは、同じような人口構成の市町村と比べてどうかということ把握するのもいいかと思います。</p> <p>それと、審議会の女性割合について、審議会の性格上女性が多かたり少ないということが仕方ないということであれば、単純に割合のことをいい悪いという必要もないのではないかと。その中身が知りたいと思いました。</p>
事務局	<p>審議会については、委員の定員が少ないとか、会計士とか弁護士とか特別の資格をもった人である場合、単純に男女を選ぶということにはならない部分はあると思います。</p> <p>ただ、女性が少ないことを仕方ないと思っている部署はありません。女性がいるのであれば積極的に選んでいくということは働きかけています。</p> <p>そのほか、審議会の女性割合というものは、全国的に統計をとっていますので、同じ定義で集計したのであれば、他市町村と比較しやすいということで使用しているものです。</p>

笠谷委員	報告書の表現が、「目標値には近づいているが、女性委員が1名もいない審議会が6あることや、逆に女性委員が9割を占める審議会もあり」となっていて、悪いことだという表現に読み取れましたので、表現を工夫したほうがいいのかと思いました。
事務局	どの審議会等も、女性と男性の意見をバランス良くという意識があります。また、女性と男性の意見が出しやすい状況となるようにするならば、割合として35%がいいのか50%がいいのかはわかりませんが、偏りをなくしていくことは必要と考えています。 DVのコーディネート件数の他市町村との比較についてですが、資料を持ち合わせていないので、後日用意させていただきたいと思えます。
尾山委員	施策番号56の女性の管理職について、担当課所見で平成31年度25%と目標を設定していますが、29年度も目標が10%となっていて、すでに超えているから更に高い目標ということかと思いますが、保育所の定員の目標みたいに細かくきざんで目標を立てていってもいいのではないかと思います。
事務局	これは定義が違いまして、平成28年4月から策定が義務づけられた、特定事業主行動計画によって定められた、副課長以上の人数を表しているものです。施策番号56の人数は課長級以上のものであり、とらえ方が違ってきます。 保育所の定員については、あまりに数値が超えてしまったので、あらためて数字を指し示したものです。
尾山委員	ワークライフバランスの必要性について事業所に働きかけるとありますが、具体的にどのように働きかけるのでしょうか。
事務局	機会は年に1回で、人権問題市民企業講演会の案内をふじみ野市内二百数十社に送るときに、啓発の冊子もいっしょに送っています。
尾山委員	通知するとき、市役所内で「これはうまくいった」というものについて紹介することもできるのではないのでしょうか。 例えば残業の時間が減ったとか、上司が呼びかけをしたら減ったとか。
事務局	それについては今後検討します。
笠谷委員	私が勤めていた職場では、毎週水曜日に定時で帰るという取り組みがあり、所属長の評価にもつながっていました。他にいい事例もあるので、参考にしてもらいたいと思います。
大河内委員	フクトピアの男女共同参画コーナーについては気になっています。新しい本も購入して、いい本が置いてあるのですが、建物が離れていて放置状態になっていることと、貸し出しができず、目を通すだけで終わってしまうのもったいないと思います。窓口と一体化して見せていければいいかという要望があります。 また、昨年度委託事業と職員研修を合同でやったLGBT研修ではいい話が聞けたのですが、そのあと市の中で新たな動きがあった

	かどうか知りたいと思います。
事務局	<p>市民課の印鑑登録の申請書等について、性別欄を無くすことについて6月議会に上程して廃止することが決定しました。</p> <p>また、今年4月に全庁の申請書類について、性別欄の有無について調査をしまして、性別欄を廃止しても大丈夫という部署を確認しましたので、今後も引き続きこのことについては、取り組んでいきたいと思っています。</p>
斎藤副会長	<p>施策番号55の審議会等女性委員の割合について、数値が上がってきているのは良いことだと思います。ただ、こういう数値目標は、「近いな」と思っているとなかなか達しないところがあるので、気が抜けないと思いました。</p> <p>施策番号56の女性管理職割合については、副課長が管理職待遇であるので、今までの課長職以上から副課長以上にとらえ方を変えていくのもいいのではないかと思います。ただ、副課長以上の人にはそれなりの認識をもって仕事してもらう必要があることは意識してもらいたいと思いました。</p> <p>施策番号41のDVコーディネート件数については、釈然としないのが、数値目標というので、数値として多くするべきか少なくするべきか、そのとらえ方をはっきりさせることが必要かと思いました。</p> <p>施策番号54のまちづくり人材登録制度について、登録をすればいいというものではなく、登録した人たちが何をしていくものなのか。できれば男女共同参画推進のひとつの母体になれば、意識を持った人たちが増えていくのではないかと思います。重要なことなので、意識したまちづくりをやってもらいたいと思いました。</p>
石井会長	議題（1）について、さまざまな意見を出していただきまして、これまでの報告その他については、事務局に一任して修正してもらおうということによろしいでしょうか。
全員	（異議無し）
石井会長	議題（2）審議会の今後のスケジュールについて、事務局からの説明を求めます。
事務局	<p>平成28年4月に完全施行された、女性活躍推進法に基づく市町村推進計画として、ふじみ野市推進計画を策定する予定です。その計画は平成30年度からの第2次男女共同参画推進計画に盛り込むことを考えています。</p> <p>それについて、審議会のご承認をいただけますでしょうか。</p>
石井会長	事務局の提案のとおり、第2次男女共同参画推進計画にふじみ野市推進計画を盛り込むということによろしいでしょうか。
全員	（異議無し）

事務局	平成28年度から29年度までの審議会のスケジュールについてご説明いたします。当初の予定では次期プラン作成は平成29年度から開始する予定でしたが、28年度中から前倒して取りかかることとしてご承認をいただけますでしょうか。
石井会長	今後のスケジュールについて、事務局提案のとおり進めるとしてよろしいでしょうか。
全員	(異議無し)
石井会長	議題(3)その他について、事務局から何かありますか。
事務局	女性情報誌「燦」の編集委員について、公募しましたが応募がなかったため、審議会の中から編集委員になっていただける方はいらっしゃいますでしょうか。 (笠谷委員と尾山委員が受諾)
石井会長	議事が全て終了しました。事務局に進行をお願いします。
事務局	閉会のご挨拶を斎藤副会長からお願いいたします。
斎藤副会長	これを持ちまして、平成28年度第1回男女共同参画推進審議会を終了いたします。